

世界農業遺産登録推進関連展示

みなべ・田辺梅林周辺の生き物

和歌山県立自然博物館においては、現在、みなべ・田辺地域において生き物の分布調査を行っています。このたび、それらの中間報告として、「みなべ・田辺梅林周辺の生き物」というテーマで展示を企画致しました。この機会に是非、自然博物館に御来場ください。

- 1 展示名称 みなべ・田辺梅林周辺の生き物
- 2 開催日 平成26年7月18日（金）～8月31日（日）
- 3 展示場所 第2展示室 話題のコーナー
- 4 展示内容 昆虫標本（ヒラタクワガタ、ダビドサナエ）他35点、植物標本（タチバナ、キイセンニンソウ）2点、鳥類標本（メジロ）1点

5 備考

日高郡みなべ町、田辺市には、日本一の梅産地を誇る梅林の周辺に、薪炭林や棚田など、生き物のすみかとなる良好な里山が残っています。この地域では、梅生産の他にも、紀州備長炭の生産が盛んであり、昔から、身近な里山が大切に利用されてきました。その地域本来の自然と深い結びつきを持ちながら伝統的な産業が続いてきた結果、山の斜面を利用した梅林と、それらを取り囲む薪炭林という、紀南地方独特の広大な里山景観が保たれています。

平成26年2月より、陸上生物、鳥類、植物の分野について分布調査を行っています。調査の結果、国や県のレッドデータブックに掲載された絶滅危惧種や、当地域の里山を特色付ける動植物も確認されました。今回の展示では、それらの動植物について詳しく解説する他、みなべ・田辺地域において、生き物の生息・生育地として保全上特に重要な場所について紹介します。



メジロ



タチバナ



ニホンミツバチ

和歌山県立自然博物館とは？

和歌山県立自然博物館は、豊かで美しい和歌山県の自然を紹介する施設です。水にすむ生きものの展示を中心に、動植物、昆虫、貝、化石などの標本も展示・収蔵し、興味を持って楽しみながら学習できます。また、研究や教育普及活動を通じ、地域に親しまれる博物館をめざしています。

〒642-0001
和歌山県海南市船尾370番地の1



和歌山県立自然博物館

URL <http://www.shizenhaku.wakayama-c.ed.jp>

✉ postmaster@shizenhaku.wakayama-c.ed.jp

TEL 073-483-1777